

伊勢市統計レポート



伊勢市人口ビジョン 令和2年3月版

【 将来展望 】

「伊勢市人口ビジョン 令和2年3月版」では、少子高齢化の進行が深刻化するなか、本市が、地域に暮らす人々の幸せや地域の豊かさを向上させ、持続的な発展を実現していくために、今後目指すべき将来の方向と、進める取組みが実現した場合の将来展望を提示しています。

■目指すべき将来の方向

人口減少の克服には、自然増減、社会増減の両面から、改善に取り組む必要があり、次のとおりとしています。

<目指すべき将来の方向>

- ①若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、合計特殊出生率を向上させる
- ②安定した雇用の創出と新しい人の流れを生み出し、社会増減ゼロを目指す
- ③「暮らしやすいまち 伊勢」を構築するための取組みを進め、人口減少の克服を図る

■人口の将来展望

「目指すべき将来の方向」を踏まえた取組みが実現した場合、本市の人口の将来は次のように展望されます。

自然増減（合計特殊出生率）改善の仮定

合計特殊出生率が、2020年に1.6程度、2030年に1.8程度、2040年に2.1を達成し、以降2.1を維持する。

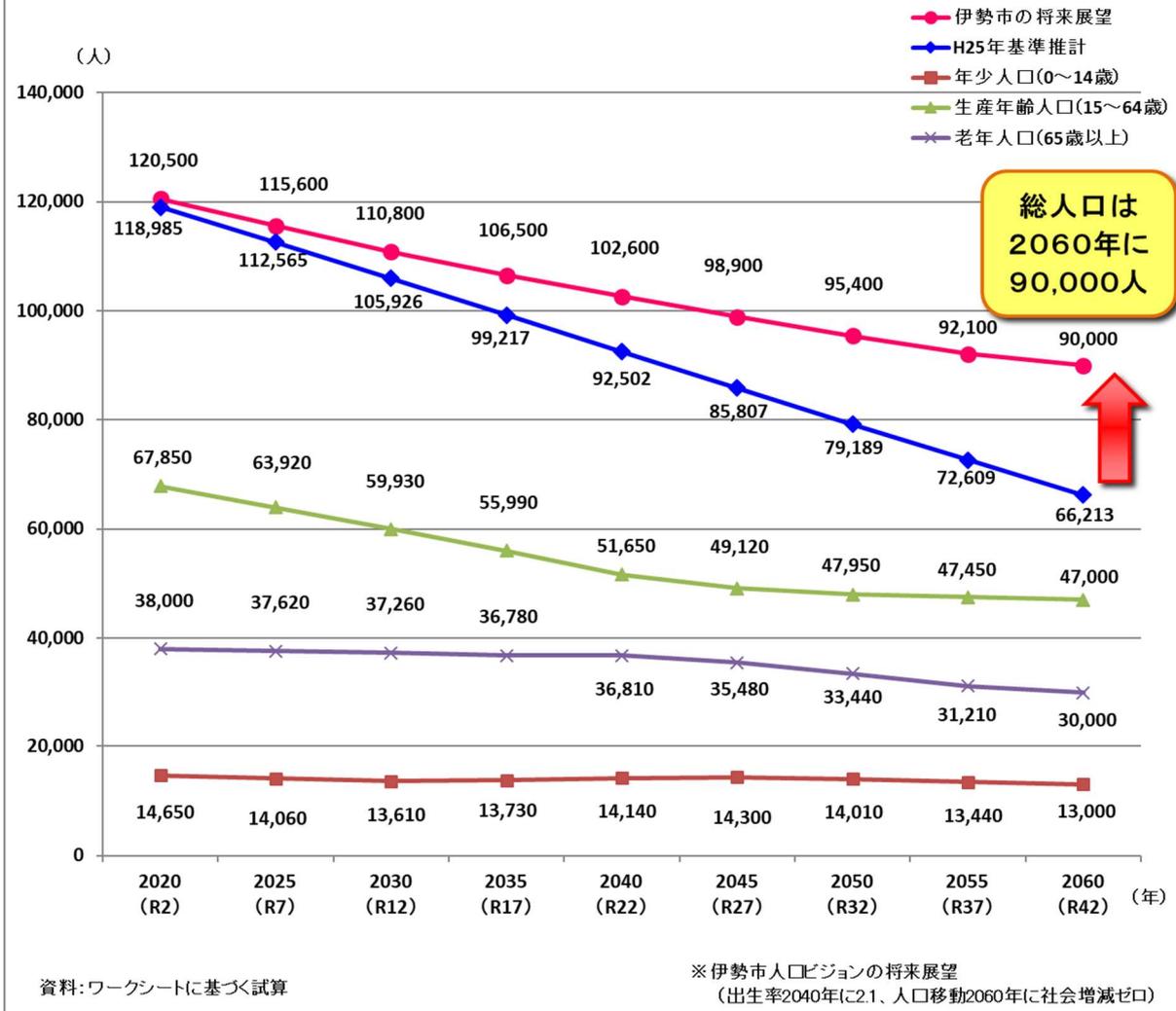
社会増減（転出抑制・転入促進）改善の仮定

社会増減が、2060年までに、ゼロの状態を達成し、以降もその状態を維持する。

上記のとおり仮定すると、

2060年の総人口は、**90,000人**が確保される。

人口の将来展望



※H25年基準推計は、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域将来推計人口（平成25年3月推計）」に準拠した推計方法による将来人口の試算です。

※年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）、老年人口（65歳以上）は、伊勢市の将来展望における内訳です。

■人口の将来展望（2060年）の内訳

総人口	90,000人	構成比	年少人口	13,000人	約15%
男性	43,000人	約48%	生産年齢人口	47,000人	約52%
女性	47,000人	約52%	老年人口	30,000人	約33%